

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	HM	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学 年	4	派遣国	イタリア
派遣大学	カ・フォスカリ大学		
期 間	2025 年 9 月 17 日～ 2026 年 7 月 6 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / <u>2 人部屋</u> / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 (58000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (30) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	15000 円	自炊
学用品購入費	1～2 万 円	学期はじめのみ
交通費	3000 円	島内に住んでいたのほとんど徒歩のみ
交際費	2～3 万 円	食事や外出等
その他	3 万 円	旅費など

合計

8～10 万

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

ヴェネツィア本島内は国内でも比較的治安が良い。観光客が多いためスリには気を付けた方がいい。夜は街灯が少なく暗いが、大きな犯罪は聞いたことは無い。なくしたものは帰ってこない。

島から出てメストレ地域等に行くと雰囲気が変わり治安が悪い。夜に一人で出歩くことは避けた方が良い。話しかけられても受け流すべき。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(11 万) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

<p>滞在都市／町 (ヴェネツィア)</p> <p>北イタリアに位置し、一年を通して世界中から観光客が訪れる地域です。海の上に作られたまちであり、細い路地や島中に広がる運河、海辺の広場など毎日きれいな景色を見ながら大学に通うことが出来ます。空港やバスターミナルもあるため、他の国や国内の多都市へのアクセスも良好です。一年間を通して本島内の寮に滞在しましたが、徒歩の時間が長いことや観光客の多さなどは予想していたよりストレスになりませんでした。スーパーが少ないことだけが、少しだけ懸念点になると感じました。</p> <p>本島内に住むのであれば、公共交通機関の定期券を買うことは必須ではないと感じました。しかし、定期券があると水上バスでブラーノ島やムラーノ島、海水浴が出来るリド島にも行くことが出来るため便利でした。</p> <p>観光地であるため、店でのコミュニケーションは英語で問題なく行える場合が多かったです。簡単なイタリア語を話せると、喜んでくれたり優しく接してくれたりしました。</p> <p>気分転換に島内を散歩したり、友人とバーカロに行くことが出来るため、穏やかな日常を過ごすことが出来ました。</p>
--

【学業編】

1. 大学情報

大学	カ・フォスカリ大学	所在地	ヴェネツィア
最寄空港	マルコ・ポーロ空港	空港からの距離	15km
空港⇄大学	(バス、徒歩) *移動手段		
学生数	約 25000 人	留学生数	約 1500 人
学部	Department of Economics Department of Management Department of Humanities Department of Philosophy and Cultural Heritage Department of Linguistics and Comparative Cultural Studies Department of Asian and North African Studies Department of Environmental Sciences, Informatics and Statistics Department of Molecular Sciences and Nanosystems		
	*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Department of Linguistics and Comparative Cultural Studies *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Italian Language(Module A)		Italian Language(Module A)		Italian Language(Module A)
午後	Italian Language(Module B)		Italian Language(Module B)		

② (2)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	C1 English			日本語自由会 話	
午後		日本語漢字添 削	C1 English	日本語自由会 話	

3. 履修内容

科目	History of Venice		
履修期間	1 st semester	単位数	6
授業内容／形態	先生による講義の聴講。 挙手による質問。 ヴェネツィアの歴史について。		
成績	18		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Theories of language education		
履修期間	1 st semester	単位数	6
授業内容／形態	先生による講義の聴講。 ペアワーク、グループワーク、プレゼン作成。 言語教育の理論と手法について。		
成績	18		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Italian Language for exchange students		
履修期間	1 st semester	単位数	6
授業内容／形態	先生によるレクチャー、ペアワーク、会話。 英語でイタリア語を学ぶ。		
成績	21		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	C1 level English		
履修期間	2 nd semester	単位数	6
授業内容／形態	先生による講義。ペアワーク、プレゼン作成。 経済学を学ぶ学生が C 1 レベルの英語を習得するための授業。		
成績	20		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	日本語自由会話		
履修期間	2 nd semester	単位数	
授業内容／形態	現地の日本語学科の学生のサポート。 会話やゲームを通して学習をサポートする。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	日本語漢字添削		
履修期間	2 nd semester	単位数	
授業内容／形態	現地の日本語学科の学生のサポート。 漢字テストの添削や課題のチェック、質問にこたえるなど。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

ベネチアへの留学は、私にとって大きな刺激と学びがあった非常に有意義な期間となりました。世界的な観光地でありみえる景色が全て美しいまちで生活することができ、都市空間や歴史的建造物の活用や水辺の公共スペースが人々を引きつける魅力について肌で感じて学びたいと考え、ヴェネツィアでの留学を経験したいと考えました。

現地での勉強では、日本とは異なるアプローチや自分にはない視点から言語などの学びを深めることができました。特に印象的だったのは、現地の学生や留学生と関わりながら進めていくグループワークです。日本の大学では経験できなかったような積極的な学生たちの議論に圧倒されそうになりましたが、自分なりに準備してせっきよくてきにさんかすることで、少しずつ成長できたと感じています。また、現地での卒業論文研究にも力を入れました。例えば、ザッテレ地区などの運河沿いに形成される人の流れや、水辺のパブリックスペースが人々の集うコミュニティ空間としてどのように機能しているのかを分析しました。現地の人々の実際の過ごし方や日常の風景に触れながら考察を深めた体験は、今後の研究や自身の視野を大きく広げる貴重な財産となりました。

大学での学びに加え、ベネチアでの日常そのものが大きな学びの連続でした。車が存在せず、運河と徒歩で移動する独特の生活様式や、歴史的

な文化財を守りながら暮らす現地の人々の生活に触れました。留学中にできた友人とご飯を作りあって食べることや一緒に勉強をすること、会話したり出かけたりしたことは、毎日の楽しみでありとても濃い思い出です。また、休日には近隣の国々やイタリア国内の様々な都市へ足を延ばし、多様な文化や歴史を持つ環境に身を置くことで、異文化に対応する力や柔軟性が身につきました。

この留學生活を通じて、異文化の中で自ら考え、行動する力と主体性が身についたと考えます。当初は自分から行動することが難しい場面も多くありましたが、現地での生活を送る中で、自分で判断して積極的に行動する力や、言語や国籍の違う人に話しかけることに対するハードルが下がったことを実感しています。また、今後も国際的な環境に身を置きたいと考えることも多くなりました。

この1年間の交換留学の経験を活かし、残りの大学生活での卒業論文研究やキャリア形成に生かしたいと考えます。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

留学期間中にイタリア人の日本語学習を支援したこと、新しい食文化や言語に触れたこと、卒業論文研究を何もわからない状態から始めて進行したことは、私にとってとても貴重な経験になりました。これらはどれも、留学生活にあたり支えてくれた家族や友人がいたからだと感じています。恩返しができるように今後の学びやキャリア形成に繋がたいと考えます。また、英語やイタリア語の学習を継続したいと考えています。TOEIC の点数を上げることに挑戦したり、イタリア語検定の受験によ挑戦することを考えています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

約 10 ヶ月ほどの交換留学の期間は、出発当初は長く感じますが、始まってからは本当にあっという間に過ぎていきました。まだやり残したと感じることや、こうしておけばよかったと考えることもあります。留学中は大変なことも多いと思いますが、毎日を楽しんで後悔のない留学生活を送ることが一番だと思います。

私は留学期間中に犯罪に巻き込まれたり、危険な目に遭ったことなどは特にありませんでした。単に運が良かっただけだと思いますが、そのおかげで安心して生活することができました。ぜひ安全第一な留学生活にしてください。

英語圏ではなくイタリア語を話す人が多いため、初めてイタリア語に触れるは方も多いかと思いますが、少しずつ生活の中で覚えることができました。現地の友人も積極的に教えてくれるますし、頑張って話そうとすると喜んでくれます。ぜひ楽しんでください。

この留学期間でできた友人は一生の財産になったと感じています。なかなか会える環境にいない友人になるかもしれません、また会うために他の国に行きたい、その言語を学びたいと感じるいちばんのきっかけになると感じています。ぜひ積極的に友人をみつけてください。